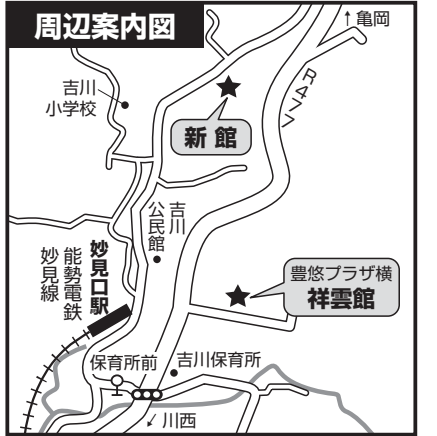


# 笑雲

しょう ぶん

第44号  
発行  
平成21年10月11日

**祥雲館**  
社会福祉法人 桃林会  
〒563-0101  
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1  
TEL: 072-733-2301  
FAX: 072-733-2303



## 主役は「あなた」です 「あじさい」デイの実践から

前号でグループダイナミクス(集団の持つ、場の力)を活かした大規模デイサービスである、デイサービスセンター祥雲館「みずほ」を紹介いたしました。広いスペースを有効に使い、多人数の持つ、場の力を活かしたレクリエーションとリハビリが特色であることを詳しく取り上げました。

今回は、小規模デイサービスである、デイサービスセンター祥雲館「あじさい」を紹介します。早いもので、今年の7月に1周年を迎えました。設立当初から、『利用者の自己決定に基づくサービスの提供』を基本理念とし、吉川地区の自然に囲まれ、自然の光や風を肌感じられる環境のなか、利用

者が主体性を発揮しやすい「場」を追求してきました。



まず、集団でのレクリエーションは行わず、個別レクリエーションをメインとし、利用者さんとの相談しながら1日のプログラムを組み立てます。ある方は切り絵を、ある方は布草履を編んだり

それぞれに希望に沿ったアクティビティに取り組んでおられます。その他、地域のボランティアの皆様、水画・書道教室、朗読会(吉川地区の郷土史解説と本の朗読)なども開催しています。

そして「あじさい」の観光所(?)である、あじさい園では、ミニ農園やミニコスモス畑が季節ごとに様々な花や実をつけ、時には収穫した野菜を利用者さんと一緒に調理し

て味わっています。もちろん、園芸の手入れから水やりも利用者と共にいます。

また、デイサービスには様々な『ひと』が集まり、出会いがあります。デイサービスにおいて利用者は新しい『ひと』と出会い、共に時間を過ごすことで、お互いを思いやり、心配したり、そして励ましあいながら関係を築いていけます。加齢や疾病による心身機能の低下は時に、高齢者を社会から遠ざけることがあります。そして、社会への参加が制限されると、さらに心身の機能が低下するといった悪循環が起きます。『ひと』と『ひと』が交流し、一緒に笑ったり、泣いたり、お互いに刺激しあうことで、元気になっていくものであり、デイサービスは『みんなが元気になる』ための場所』であると私たちは考えています。

病気を抱えながらも、認知症があっても、自ら生きる意志、環境さえ整えば主体性を発揮しながら人生を楽しむことは可能で、『ひと』は誰もがそのちからを持っています。しかし、そのからは利用者のこころの奥に潜んでいることが多く、私たちに課せられている課題は、いかに上手くそれを引き出せるか、主役はいかに黒子に徹することが出来るかだと思っています。

あじさいは、高齢者が生きてきた上で獲得された、知識や経験を大いに発揮していただける場所です。これからの人生、あじさいでもう一花咲かせてみませんか。職員一同、皆様との出会いを楽しみにお待ちしております。

東 あずさ



# 吉川盆踊り

8月15日吉川公民館で吉川盆踊りがあり、祥雲館から特養とグループホームの利用者さんが参加しました。

屋台をまわったり、団扇をいただいたり、大変喜んでおられました。

盆踊りではやぐらの周りを踊りながら、何周も回っていました。中には10周を超えた利用者さん



もおられました。ぜひ、来年も参加させていただきたいです。地域の皆さん、ありがとうございました。

## 祥雲館アーカイブ

祥雲館で最近起きたことを紹介します。  
当館ホームページのInformation欄からの抜粋です。

- ◆2009.9.21(月)～  
○『敬老週間』各部門にて日替わり敬老イベント開催中。
- ◆2009.9.15(火)  
○職員研修『介護事故勉強会』を開催しました。
- ◆2009.9.14(水)  
○特養ホームユニット化改装工事が竣工しました。
- ◆2009.9.9(水)  
○特養ホームユニットチームによる「ユニットチーム全体会議」を行いました。
- ◆2009.9.7(月)  
○「介護福祉業界合同就職説明会」に参加しました。
- ◆2009.9.6(日)  
○特養ホーム4階：家族会『すき焼き』を行いました。
- ◆2009.8.27(木)  
○特養ホームユニットチームによる「ユニットチーム全体会議」を行いました。
- ◆2009.8.22(土)  
○「川西庵」：祥雲館親睦会による懇親会を行いました。
- ◆2009.8.15(土)  
○本館デイサービスセンター：『ミニ夏祭り』レクを行いました。  
○吉川自治会『盆踊り』に参加しました。
- ◆2009.8.13(木)  
○特養ホーム従来型特養チームによる「従来型特養会議」を行いました。
- ◆2009.8.11(火)  
○2階：食事会『そうめん流し』を行いました。
- ◆2009.8.9(日)  
○新館：『夏祭り』が開催されました。
- ◆2009.8.5(水)  
○社内研修『緊急時対応』を行いました。
- ◆2009.7.30(木)  
○特養ホームユニット化、チーム全体会議が開催されました。
- ◆2009.7.23(木)～  
○特養ホーム4階：買い物レクで猪名川ジャスコへ行きました。(7/23・27・29)
- ◆2009.7.21(火)  
○職員研修『介護事故勉強会』を行いました。
- ◆2009.7.20(月)  
○新館：調理レクレーションで、手打ちうどんを作りました。

祥雲館のホームページは  
<http://www2.gol.com/users/syownkan/>

## 紙ヒコーキ 編集後記

いつも「笑雲」をご覧になって頂きありがとうございます。私が広報委員長になり、この「笑雲」の編集・作成をするようになって2年目になります。以前と違い、編集・作成も色んな方の力を借りており、作りやすくなってはいますが、それでも発行前月には業務の合間をぬって、バタバタと編集・作成しております。

そんな中、祥雲館宛てに一通のお手紙が……。内容は笑雲の事でした。一面に文字が書かれており、簡略させて頂きますが、紹介します。

「笑雲でお元気な高齢者の様子を拝見させて頂きますと、元気な時の母が楽しみで通っていたデイサービスの事、また母の声を思い出します。」という内容でした。思いが込められたお手紙を頂き大変嬉しく、感激しました。これからもこの様なお手紙が頂ける様に頑張りたいと思います。色んな人々に笑いと感動をお送りする「笑雲」という存在が地域に根付きます様に……。 広報委員長 坂井田 賢二

次回の発行は平成22年1月10日(日)です

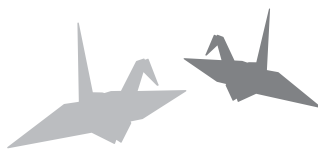
## 作品展

今回は、特別養護老人ホームとデイサービスセンターみずほから素晴らしい作品をご紹介します。



「毛糸のポシェット」  
佐藤 富子さん

手編みで一つ一つ丁寧に編んでおられます。



どれも細やかな作りで素晴らしい作品です。今後も作品を紹介していきますので、お楽しみに！



「折り紙」橋本 竹野さん  
当館にお住まいの橋本竹野さんは豊能町最高齢、明治38年生まれの104才です。今までに数え切れないほどの折り紙作品を作り、今も作り続けています。



9月8日に池田町長が長寿のお祝いに訪ねてくれました。



### 介護相談会開催のお知らせ



高齢者の介護、日常生活や介護保険のしくみについてなど、なんでもご相談ください。介護サービスって誰でも使えるの？ 豊能町の福祉サービスを使ってみたくて、申し込み方が分からない！ など、どんな質問でも、祥雲館介護支援専門員がお答えします。

- ◆開催日：毎月 第2水曜日
- ◆時間：13:30～14:30
- ◆場所：新館の地域交流スペース
- ◆担当：鎌田  
TEL.072-733-2302